



北米ホーリネス教団
オレンジ郡
キリスト教会
「週報」

2014年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 1日2章の聖書日課に励む
3. 日ごとの写教に励む
4. 定期の祈り会に参加
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am
 コーヒー・アワー : 日曜日 10:45~11:15am
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm
 みふみ会 : 水曜日 10am
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm
 早天祈禱会 : 土曜日 7am
 家庭集会 : 各地区に2箇所
 牧 師 : 杉村 幸 (日本語部)
 : 益田デーロ (英語部)
 電 話 : (714) 827-6244 (教会)
 : (714) 527-1456 (牧師館)
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com
 教会ホームページ : www.occc.org
 教会所在地 : 4872 Bishop St.
 Cypress, CA 90630

石 叫

◎石叫■

「桂文楽」

これは昨年の『文芸春秋』(八月号)に掲載されていたものだ。随筆家の江国滋のコメントで、名人といわれた八代目桂文楽の最後の舞台が記されていた。「桂文楽さんが最後につとめた高座は、昭和四十六年でした。年も押し詰まった十二月に亡くなるのですが、その前の八月の末でしたか、東京の国立劇場の小劇場で『大仏餅』を演(や)ることになった。これは三遊亭円朝原作の斬でね。文楽さんの重要なレパートリーの一つで、それを国立の高座に掛けたわけです。枕から型通りに入って本題に入り、もう文楽の調子で話していたのに、三分の一ぐらいにさしかかって、ふっ、と絶句しちゃったんですね。初めはお客も、それが文楽さんの一種の間かなと思っていたのが、十秒経ち、二〇秒経ち、それでも出てこない。そうすると、さすがに客席もざわざわしてきて、心ない客からは『どうした、早くやれ』なんて野次が飛ぶようになってきた。それでも文楽さんは正面を向いたまま、じいーつと頑張っていたのです。が、やがて深々とお辞儀をし、それから顔を上げてまして、『相すいませぬ。台詞を忘れましたのでございます。また勉強しなおして参ります』そう言ってまた深々とお辞儀をして、それで何事もなかったように静々と袖に引つ込んだ。それで楽屋に辿り着いて声を放って泣いたそうです。それが名人桂文楽の最後の高座になったわけです。それから間もなく身体をこわして、暮れに亡くなったのですが、お葬式が終わりましてから、文平という二つ目が当時おりまして、こんな話をしてくれたんです。『うちの師匠は、たとえば今夜、どここの高座で『大仏餅』を演るとしたら、午前中なり午後なりをまるまる使って、二階で障子を閉めきって、一人で初めからおしまいまで稽古をして、それで出てゆくんですよ。だけど、それだけじゃあないんです。斬も復習(さら)っていましたけど、それ以外に、これはもうだいたい前からでしたけど、二相すいませぬ。台詞を忘れましたのでございます。また勉強しなおして参ります』という言葉とそれを言うときの姿勢―目のやり方とか、お辞儀の仕方まで一生懸命稽古していたんですよ』

モーセは申命記で、「もし、彼らに知恵があれば…その身の終りをわきまえたであらうに」(三二・29)と語る。自分の終りの時の身の振り方すら念頭において行動することこそが知恵なのだという。主イエスはご自身の最後である十字架にすべてを集約して生きて来られたお方であった。私たちが自らを十字架につけるような生き方こそが神の名人芸であることを銘記したいものである。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。

私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

